

竹早公園・小石川図書館一体的整備みんなで考えるミーティング(第1回) 説明時の質疑・意見

竹早公園・小石川図書館共創研究所はどういった経緯でできたのか。

今回の応募者数はどのくらいあったのか。

中間のまとめ策定時のワークショップについて、どのような内容で、どのような参加者のカテゴリーで行ったのか。また、これまでのワークショップと、今後のワークショップはどう違うのか。

都市計画公園の建ぺい率は12%とのことだったが、それ以外の選択肢はないのか。12%はシビアな数字なので、なくしてフリーにしてほしい。テニスコートの面数との関係もある。図書館は今の敷地に同じ敷地面積で建てるができないという理解でよいか。一体化を進めた結果、12%までに抑えなければならないという条件が生まれたという理解でよいか。

中間のまとめでは4層だったが、例えば屋根を斜めにして、片方は5階で片方は3階というような高さの高低をつけた場合には4層というのは必ずしも条件ではないという理解でよいか。原則論でつくったのが中間のまとめなら、例外適用の条件があるのかを知りたい。

条件を設定することが重要ではないか。条件が分からないと検討ができない。

ワークは何回やるのか。疑問を解消していくことが重要ではないのか。

テニスコートを何面にするかが重要な問題。図書館はできるだけ広くとりたい。図書館ファーストで次が公園、その次がテニスコート。どの施設も今と同じ状態で議論するのは違う。

中間のまとめは区役所かホームページで見ることできるのか。どのようにアクセスすればよいか教えていただきたい。

ワークショップの建付け、あり方、進め方に整理が必要ではないか。どういうことを検討するのか、どういう経緯で座長が選ばれ、どのような立ち位置か分からない。納得感のある建付け、あり方、進め方について、もう少し分かりやすい形にしていきたい。スクリーン投影のみの資料についても共有していただきたい。意見募集についても参加者へのインプットがないと、中間のまとめに誘導するかのように、納得感の高いワークショップにはならない恐れがある。

法令についてもっと説明しないと元の木阿弥となる。意見募集で430件の意見が出ているが、法令を理解していないために色々な意見が出ている。法令を理解すれば、内容はまとまり、意見は何件もない。基礎調査報告書では日影規制の影響を受けている住宅は非常に少ない。中間のまとめでは、複合施設の敷地面積は倍増しているのので、日影規制の対象が大きくなるが、それ以上階層を増やせないことは、ちゃんとした図を出せば理解できる。屋根の形状を変えたりセットバックすることでもう1層増やせるならば、どのくらいのセットバックができるのかを示してほしい。建ぺい率12%は、都市公園法の12%だが、それを超えてよいという法的根拠はあるのか、ないのか教えていただきたい。

全体のスケジュールはどうなっているのか。区として、このワークショップの終わりの時期を決めているのか。また、参加者の意見をどれだけ吸収するつもりがあるのか。本気でやるなら期限は決まっていはいはず。

立体都市公園制度を使った場合にやってみたいことの検討は今回はできないのか。

テニスコートありきのような説明がこれまでずっと続いているが、そこはどうなっているのか。

文京区の図書館は資料を分担収集しているが、レコードは小石川にあるので利用者は小石川に行く。小石川図書館の問題は文京区全体の問題だと思うが、分担収集は変えないのか。

考えられるポイントについては、事業者で挙げるべきではないか。

話し合いを楽しみに来たが、とてもつまらないというのが子どもたちの意見。プログラムを最初に説明していただいたが、そのとおりにならず質疑応答タイムになってしまっている。重要な指摘もあるが、多くの人の意見を集めるという意味では、ちょっと良くない空気だと思う。

中間のまとめに対する意見募集は、本日の参加者はみんな出していると思う。400件以上意見が出ているので、わざわざワークをやらなくても。意見に対する区からの回答や、法的に無理であることの丁寧な説明をこれまで受けてきていないということがあり、不信感がある。意見募集に対して丁寧に回答することをお願いしたい。9月頃にホームページで意見結果は公表しているが、回答がないので、速やかに回答いただきたい。

先ほどからの質問に対して回答していただけていない。議論のキャッチボールなので、丁寧に回答していただく必要がある。内容を記録しているか。この先ワークショップをやるスケジュールを壊してしまう意見を言うのは申し訳ないが、徹底的な質疑と現時点で答えられる範囲で、考え方の回答をいただきたい。この場でなるべく知識レベルを一定にしたいと思っており、そちらの方が先ではないか。

意見募集と同じことを書くことになるため、ワークは無駄である。次回は意見募集に対する回答を出してほしい。開催に先立ってメールで送ってほしい。

どういう成り立ちで委託事業者が設立し、どのような知見を求めて選定したという紹介がない。選定の仕方を説明してほしい。次回プロフィールがほしい。

中間のまとめを作った事業者が説明しているが、中立公正な議論ができるのか。区は事業者の募集からやり直すべきではないのか。

八千代公園の再整備の際に、事業者がどのように選ばれたのか質問しても回答がなかった。既に計画ができていの中で区民の声を聞くワークショップをやっていたが、そういうやり方自体がおかしい。特に竹早公園は児童公園から始まっている。今日も、子供の意見を聞く時間がなくなるので、その辺を考えて進めてほしい。

中間のまとめに対しての意見募集が430件集まっているが、色々良いことも書いてある。区のまとめ方がテーマの区別だけで内容についての精査をしていない。フィードバックもなく、考え方がなく、みんなで考えましょうというのはどうなのか。

430件の意見の回答は事前に送付してほしい。

本日の資料に出典先や製作者の記載がない。一体的整備について問い合わせをしたくても、文京区のどこに問い合わせたらいいのかがどこにも書いていない。

この問題の背景には、ズルをしてテニスコートを長年利用していた団体があり、それを区も放任していた。団体からは、新しい建物の中にテニス専用の施設を1階フロアにつくり、専用にしてほしいという要望書が出され、それが反映された計画になっている。今回のワークショップにおいて、分けて検討する問題ではない。9月の区議会において、区の責任についての質問があった際も、区からの謝罪はなかった。反省もしていないし、団体の影響力がなくなったかどうか定かではない。このような状況で、ワークショップを進めることには問題があると思っているが、きちんと対処していただけるのか、ご説明いただけるのか。

座長のまちづくりに関する話をまとめた動画を見たことがある。その中で、行政が進めていた計画が住民の反対にあって覆り、ゼロから検討したところ、住民の考えに合ったものとなり、結果的に住民の意見を取り上げて計画し、成功したとお話されてたのを聞いた。今回も同じように、住民からの考えを吸い上げた計画に向かったファシリテートをしていただけるのかどうか確認をしたい。

遊具が欲しい。プラスチックとかのものではなく、何か想像力が膨らむようなものが面白そう。

図書館と公園の敷地を分割したまま計画する方法もあると思うが検討されたのか。